

## 2022年第15回サケ学研究会プログラム

日時：2022年12月17日（土） 昼の部：13:00~17:35, 夜の部：19:00~21:00

場所：ハイブリッド（札幌・大槌・Zoom）（開場：12:15）

13:00~13:05（札） 開会挨拶 佐藤 俊平（サケ学研究会会長・水産機構資源研）

13:05~13:35（大） 基調講演 「サケに触れずにサケを知る ～環境 DNA の挑戦」  
荒木 仁志（北大院農）

13:35~13:50（大） 岩手県立大槌高高等学校・活動紹介  
「大槌高校はま研究会 サケ DNA 班の活動紹介」

13:50~15:20 一般講演（サケ科学奨励賞候補者講演）

[座長：市村政樹（標津サーモン科学館）]

13:50-14:05（Z） G1\* 日本におけるサケ・サクラマス・カラフトマスの捕食者：レビュー  
○大門純平・長谷川 功・佐藤俊平（水産機構資源研）

14:05-14:20（札） G2\* 遼上サケ親魚に見られる“ギラ”の特徴に迫る

○水本寛基・大門純平・小倉裕平・佐橋玄記・渡邊久爾・長谷川功・佐藤俊平  
（水産機構資源研）

14:20-14:35（大） G3\* サケ稚魚の耳石安定同位体分別の温度依存性解明

○勾玉暁(東大大海研)・樋口富彦(東大大海研)・飯野佑樹(東大大海研)・  
長坂剛志(岩手水技セ)・清水勇(岩手水技セ)・白井厚太郎(東大大海研)  
・北川貴士(東大大海研)

[座長：塚越英晴（岩手大・農）]

14:35-14:50（札） G4\* 知床におけるオショロコマの遺伝子浸透と第3イワナの生息可能性

○小澤徹也・神戸崇・荒木仁志（北大院農）

14:50-15:05（札） G5\* 流域の地形特性は溯河性サケ科魚類の再生産効率を規定するか？

○山田太平（北大院農）・ト部浩一（道さけます内水試）・  
中村太士（北大院農）

15:05-15:20 休憩・集計

15:20~17:05 一般講演（一般演者講演）

[座長：隼野寛史（道総研）]

15:20-15:35 (札) G6 夏季ベーリング海におけるさけ・ます資源生態調査の紹介

○本多 健太郎・佐藤 智希・佐藤 俊平 (水産機構資源研)

15:35-15:50 (札) G7 家魚化によって卵～稚魚期に起こること

○長谷川功 (水産機構資源研)

15:50-16:05 (札) G8 統合プログラム (融和方策) によるサケ資源の増殖と管理に向けて

一釧路川水系での放流・野生サケ集団の統合的管理に向けた取組みの紹介一

○卜部浩一・下田和孝・小亀友也・大磯毅晃 (道さけます内水試)

16:05-16:20 (Z) G9 オホーツク東部地区におけるサケマス資源回復に向けた取り組み

○宮腰靖之 (北見さけます増協)・越野陽介・倉谷京介 (道さけます内水試)・  
佐藤俊平 (水産機構資源研)

[座長：笠井久会 (北大・水産) ]

16:20-16:35 (Z) G10 半天然魚のサクラマス幼魚は養殖魚に比べて代謝率が高い

○牧口祐也・河内潤・石井優希(日大生物資源)・八木澤優・佐藤正人(秋田県水  
産振興センター)

16:35-16:50 (大) G11 心拍数を指標としたサケの代謝速度の推定

○阿部 貴晃・坂本 健太郎・北川貴士 (東大大気海洋研)

16:50-17:05 (Z) G12 サケ科魚類の受精時に卵内に侵入する細菌量およびその増殖に影響を及  
ぼす要因の推定

○藤生智大・永田 淳・笠井久会 (北大院水)

17:05~17:25 (札) サケ科学奨励賞授賞式および総会

\*総会は研究会会員が対象ですが、非会員のオブザーバー参加は可能です。

\*大会開催時期やテーマについて、ご意見があれば総会で伺います。

17:25~17:35 昼の部・閉会挨拶、写真撮影

19:00~21:00 (Z) 夜の「さけ」学研究会 (オンライン交流会) \*昼の部とZoom URLが異なります

「Night PARRty Parrrt 2 ~エキサイティング・フィールド調査、時々サケ学~」

Zoom URL: <https://us02web.zoom.us/j/82865064434>

企画、出演：藤井和也 (北大院農/福田水文)、木戸結菜 (バブコン)、小野拓哉  
(福田水文)、野表 結 (北技コン)、齋藤義郎 (栽培公社)、丸山 緑 (明治コン)